

中学校第2学年 国語科 学習指導案

期 日 平成27年10月2日(金)第3校時
 場 所 玉名市立玉名中学校 2年4組教室
 授業者 教諭 坂口 恵子

1 単元名「君は『〇〇〇』を知っているか を書こう」 ～評論の表現の工夫について考える～
 「君は『最後の晚餐』を知っているか」(光村図書「国語2」)

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領第2学年読むこと「ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること」を受け、文章の表現に表れた書き手の目的や意図をとらえ、その根拠を明確にしながらか自分の考えを形成することを学習する。一般に評論の文章とは、他の説明的な文章などに比べ、書き手の個性や価値観などに支えられたものの見方や考え方をより強く反映している。そのような評論の文章を読んで書き手の目的や意図を考えることにより、生徒は自分のものの見方や考え方を豊かなものにしていくことが可能となる。

また、本単元は、教科書では初めて出会う評論文である。生徒が美術の教科書などで目にしたことがある名画を対象に据えながら、書き手の個性的なものの見方や価値観などが述べられている。「かっこいい」といった日常的な言葉を効果的に使ったり、「解剖学」「遠近法」「明暗法」などの専門用語を具体例や図を示したりしながら、説得力のある論述を進めていく。対象自体の魅力や絵画の見方なども学びつつ、評論の読み方や評論を読むおもしろさに気づかせることのできる文章である。

本単元を通して行われる「評論の文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べる」言語活動は、他教科や日常生活の中でも求められている。本単元で学んだことを生かして、評論文を読もうとする態度を育む上でも適した教材であると考えられる。

(2) 系統観

| 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|--|---|---|
| <p>【説明】 「ダイコンは大きな根？」 C読むこと(1)アイ(2)イ</p> <p>「ちょっと立ち止まって」 C読むこと(1)イ(2)イ</p> <p>【記録】 「シカの『落ち穂拾い』」 C読むこと(1)イ(2)イ</p> <p>【説明】 「流水と私たちの暮らし」 C読むこと(1)イ(2)イ</p> | <p>【説明】 「やさしい日本語」 C読むこと(1)アイ(2)イ</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【評論】 「君は『最後の晚餐』を知っているか」 C読むこと(1)イ(2)イ</p> </div> <p>【論説】 「モアイは語る」 C読むこと(1)イ(2)イ</p> | <p>【説明】 「月の起源を探る」 C読むこと(1)アイ(2)イ</p> <p>【論説】 「論理の展開に着目して読もう」 C読むこと(1)イ(2)イ</p> <p>「ネット時代のコペルニクス」 C読むこと(1)アイ(2)イ</p> <p>【評論】 「聴くということ」 C読むこと(1)アイ(2)イ</p> |

(3) 生徒観

○昨年度の熊本県学力調査の結果から、「読むこと」については、他の観点より、県平均と一番差がない(-1.9)ものの、すべての観点について県平均を下回っている。特に、「書くこと」に関しては、-9.8と大きく差が開いている。知識の習得とそれらを活用して課題を解決する力に課題がある。

○平成 27 年度全国学力調査問題（A問題説明文）を使ったレディネステストにおいては、以下のような結果となった。

| | 本学級正答率 | 県正答率 | 全国正答率 |
|--------------------------------|--------|-------|-------|
| 目的に応じて要旨をとらえる。 (第1学年 読むことイ) | 50.0% | 70.3% | 71.3% |
| 表現の特徴をとらえる。 (第1学年 読むことエ) | 65.9% | 85.1% | 87.1% |

この結果から、身に付けさせたい読む能力は、県、全国の正答率を下回っていることが分かった。また、表現の特徴をとらえることに比べ、要旨を正しくとらえることの正答率が低い結果となった。

○自分の考えを自由に書く活動に対して、何をどのように書けばいいのか悩む生徒が多いが、書き方ははっきりとしている学習課題については、意欲的に取り組むことができる。

(4) 指導観

○単元を貫く言語活動を[「君は『○○○』を知っているか」を書こう]とする。生徒には、筆者からの「自分の好きなものについて評論文を書いてほしい」というメッセージを伝え、文化祭で展示するために書くことを話す。本単元で学習する評論文を使って評論の書き方を学び、実際に書く活動を取り入れることで、目的意識をもたせ、主体的に読ませる。

○要旨をとらえることに課題があることから、文章構成や論理の展開を理解させるため、全体と部分の関係を、小見出しを使って視覚的に表す。

○授業で学んだことを振り返ることができる家庭学習を設定する。

| | | |
|--|--|---|
| 【視点1】 学びを引き出す 豊かなかわり合いのある 言語活動 | 【視点2】 学びを振り返る 思考過程の可視化と 学びの振り返り | 【視点3】 学びを支える 一人学びのUD化と 効果的なICTの活用 |
| 【視点1】 単元を貫く課題解決のため、言葉への着目による課題の焦点化を行うとともに、対話型言語スキルを活用し、協働的な学びの充実を図る。 | 【視点2】 思考ツールを活用した板書やワークシート等を工夫するとともに、毎時間の授業で振り返りの視点を明確にし、メタ認知力の向上を図る。 | 【視点3】 学びのUD化の視点から一人一人の学びを的確に見取るとともに、資料や学習課題の提示等において効果的なICTの活用を図る。 |

◇インクルーシブ教育の視点から

【基礎的環境整備】

- ・学習に見通しが持てるように、単元や1時間の学習過程を提示する。
- ・学習して学んだことを提示し、学びを振り返りやすくする。

【合理的配慮】

- ・対象生徒なし

3 単元の目標と評価規準

| | |
|---------------------|---|
| 単元の目標 | 筆者の論理の展開のしかたや表現の工夫を生かした評論文を書くことで、筆者の表現に対して自分の考えをもつことができる。 |
| 国語への 関心・意欲・態度 | ① 筆者のものの方や考え方が、どのように叙述されているか読み取ろうとしている。 |
| 読む能力 | ① 論の展開の上で重要な役割を果たしている「かつこいい」という語句に注意しながら読んでいる。(読むこと ア) ② 各段落が文章全体の中で果たしている役割をとらえ、「解剖学」「遠近法」「明暗法」に注意して読み、内容の理解に役立てている。(読むこと イ) ③ 筆者の表現の工夫を生かして評論文を書き、その表現の目的や意図、効果について自分の考えを持っている。(読むこと ウ) |
| 言語についての知識・ 理解・技能 | ① 重要な役割を果たしている抽象的な概念を表す語句に着目し、文脈中での語句の意味をとらえ、自分の表現に役立てようとしている。(伝国イ(イ)) |

4 指導・評価の計画（5時間取扱い 本時5／5）

| 次時 | 学 習 活 動 | 指 導 上 の 留 意 点 【3つの視点から】 | 評価の観点（評価方法） B基準 |
|----------------|--|---|---|
| 1 1 | ○本文を通読し、初めて知ったことや興味を持ったところを発表し合う。 ○文章の内容や構成について大まかに整理する。 | ・興味を持ったことなど初発の感想を書かせ、評論のおもしろさに気付かせる。 ・筆者のメッセージを話し、学習したことを生かして評論文を書く学習を行うことを伝える。 ・全体の構成と小見出しを書き込ませる。 【視点1】言葉への着目による課題の焦点化（単元を貫く言語活動の理解） | 関心・意欲・態度①（ワークシート） 筆者のものの見方や考え方について興味を持ったこと、初めて知ったことについて書いている。 読む能力①（ワークシート） 「かっこいい」に注目し、文章の構成（序論・本論・結論）について整理することができる。 |
| 2 2 | ○「解剖学」「遠近法」「明暗法」について読み取り、まとめる。 | ・グループ内で「解剖学」・「遠近法」・「明暗法」の担当を決め、読み取らせる。 【視点1】言葉への着目による課題の焦点化（ジグソー法の活用） 【視点2】思考過程を可視化する思考ツールの活用 | 読む能力②（学習シート） 「解剖学」「遠近法」「明暗法」が「最後の晚餐」の中でどのように描かれているのかを読み取り、まとめている。 |
| 2 3 | ○筆者が「最後の晚餐」を「かっこいい」と思った根拠を明確にし、まとめる。 | ・前時の学習を振り返らせ、段落⑯の「一つの要因」に着目させる。 ・段落⑲の「かっこいい」に気付かせる。 【視点2】メタ認知を促す振り返りの工夫 【視点3】ICTを使った本文の提示（接続語の働きの理解） | 読む能力①②（学習シート） 段落⑲の「しかし」や「だから」に着目して、「全体」がよく見えるようになったことと3つの絵画の科学を使ってまとめている。 |
| 2 4 | ○筆者の文章の魅力について、言葉の使い方や表現の仕方、論理の展開の仕方に着目して、意見を出し合い、自分の考えをまとめる。 | ・これまで学習した表現技法を提示し、表現の工夫を振り返らせる。 ・説明文と比較させ、違いを挙げさせる。 ・本文やワークシートを振り返らせて、なるほどと感じた部分を述べさせる。 【視点3】ICTを使った本文の提示（筆者の表現の工夫の理解） | 読む能力③（学習シート） 問いかけ、比喩（「まるで～のよう」）、体言止め、短文によるテンポのよさなどの表現の工夫に気づき、自分の考えをまとめている。 言語①（学習シート） 「かっこいい」の効果的な使われ方が分かり、自分の表現に役立てようとしている。 |
| 3 5 (本時) | ○これまで学んだことを生かして書いた評論文の「君は○○を知っているか」について意見交流をする。 | ・筆者の表現の工夫を意見交流の観点として提示する。 【視点1】対話型言語スキルの活用した協働的な学びの充実 【視点2】メタ認知を促す振り返りの工夫 | 読む能力③（学習シート） 筆者の表現の工夫を生かして評論文を書き、その表現の目的や意図、効果について自分の考えを持っている。 |

5 本時の学習

(1) 目標

評論文を読み合い、感想を交流することで、文章構成や表現の工夫に対して自分の考えを持つことができる。

(2) 展開

| 過程 | 学習活動 | 指導上の留意点及び評価 | 備考 |
|-----------|--|---|--------------------------|
| 導入 5分 | <p>1 本時の課題を確認する。</p> <p>学習課題(めあて)</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>「君は『〇〇〇』を知っているか」をグループで読み合い、観点をもとに感想を交流しよう。</p> </div> | <p>○前時までの学習を振り返り、文章構成や表現の工夫を確認させる。</p> <p>【視点2】前時まで学習を振り返りながら、意見交流させる。</p> | |
| 展開 40分 | <p>2 学習課題に取り組む。</p> <p>(1) 評論文を読み合い、コメントを書く。</p> <p>《コメントの観点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理の展開の工夫 ・接続語や問いかけの言葉 ・比喻、体言止めの使用 ・「 」でくくる ・文末表現の言葉 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>例：文章中に、「次に」や「それから」という接続語があったことで、文のつながりが分かって、読みやすかったです。</p> </div> <p>(2) 互いの考えを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の工夫を発表 ・意見を出し合う ・対話型言語スキルの活用 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>私は、〇〇に□□と書いてありそれが△△につながるの、と考えました。</p> <p>みなさんはどうですか？</p> <p>それはつまり…とこのことですか？</p> <p>例えば、何ですか？</p> <p>〇〇さんの意見を聞いて、思いついたのですが…。</p> <p>みんなの意見をまとめると、だと分かりました。</p> </div> <div style="border: 2px dotted black; padding: 5px;"> <p>【言語活動】(設定の意図)</p> <p>筆者の工夫を取り入れた友達の評論文をグループで読み合うことで、書き手の目的や意図、その効果について考えを深められるようにする。</p> </div> <p>3 意見交流で出た意見を振り返って自己評価をする。</p> <p>4 単元を通して学習したことを確かめ、他の評論を読む意欲を高める。</p> | <p>徹底指導 (ポイント)</p> <p>コメントの書き方や意見交流の仕方を見せることで、学習課題に見通しを持たせる。</p> <p>能動型学習 (ポイント)</p> <p>前時までに学習した筆者の工夫を、作品を読み合うときの観点として示し、観点到合ったコメントを書かせる。</p> <p>○本文の表現と全く同じでなくても、読者を引き付けるような工夫があれば、コメントを書くように促す。</p> <p>○発表しやすいように付せんに書かせる。</p> <p>○アドバイスや感想でもよいことを知らせる。</p> <p>○グループ内で、一人ずつ意見交流を行わせる。</p> <p>○同じ意見やアドバイスなど、自分の立場を明らかにしながら発表させる。</p> <p>【視点1】対話型言語スキルを活用した協働的な学びの充実</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>評価：読む能力(評論文、学習シート)</p> <p>B基準</p> <p>「君は『最後の晩餐』を知っているか」の文章構成や表現の工夫を評論文に取り入れ、意見交流を通して構成や表現の工夫に対する自分の考えをまとめることができる。</p> </div> <p>A基準 筆者の表現の工夫を効果的に生かした評論文を書き、友達の評論文に対してアドバイスを書くことができる。</p> <p>(B基準に達していない生徒への手立て)</p> <p>○アドバイスや友達の評論文を参考にしながら、どのような評論文を書くよかつたのかを自己評価に書かせる。</p> <p>【視点2】メタ認知を促す振り返りの工夫</p> <p>○筆者の個性が強く表れる評論のおもしろさを、本文や生徒が書いた評論文を示しながら伝える。</p> <p>○他の評論文を紹介する。</p> | <p>実物投影機</p> <p>付せん紙</p> |
| 整理 5分 | | | |

